

加賀看護学校について

I 概要

- 名称 加賀看護学校
 住所 加賀市大聖寺八間道 12-1（交流プラザさくらに隣接）
 概要 看護師 3 年課程（全日制）
 加賀市が設置し、加賀市病院事業が運営している。

学生数

学 年	1 年生	2 年生	3 年生
定 員	36	36	36
学生数	36	34	33

※ 平成 31 年 4 月(予定)

II これまでの検討

- 加賀市医療提供体制基本構想（H23.11）
 - 現立地のままでは、新病院とは離れた設置となることから、今後の運営については検討が必要
 - 看護師養成所のあり方等を勘案しながら、関係各方面と調整の上、今後の運営方針、新病院への併設等を検討する必要がある。
- 医療提供体制推進委員会 看護師養成部会検討結果報告（H26.2）
 - 加賀市民病院建物等の残債を考慮し、大部分の償還が終了する平成 37 年度（新病院開院から 10 年間）までを目途として、加賀看護学校を現在地で継続運営する。
 - 講師の負担及び学生の実習等の効率性を考慮し、加賀市民病院の跡地活用と残債の返済状況に依りて、出来る限り早期に併設移転する。
- 看護師養成部会検討後の状況
 - 新病院建設計画において、将来の看護学校の整備を考慮し、看護師養成所の建設場所を確保した。

III 近隣の状況変化

- 2015 年(H27) 金城大学看護学部設置 定員 80 名
- 2017 年(H29) 福井医療大学開校 定員 60 名
 （福井医療短期大学 定員 60 名[H29.4 募集停止]）
- 2018 年(H30) 公立小松大学開校 定員 50 名
 （こまつ看護学校 定員 40 名[H29.4 募集停止]）

Ⅳ 加賀市医療センター開院後の検討

(加賀市看護師人材養成計画策定支援業務報告書より)

- 2018年から2025年までの推計として市内看護師必要累計数は113人となっている。対して同期間の加賀看護学校から市内への供給数は127人となる見込み。
- 少子化による入学者数の減少の影響は、2025年では入学者は定員の7割程度となることも見込まれる。
- 近隣看護大学の開設による入学者数の減少は、現段階ではほとんどないが、動向を注視する必要がある。
- 加賀看護学校の強みは、公立であり学費が安いこと、4年課程を含めた他校と比較をして国家試験合格率に差が無いこと
- 学生の過半数は市外からの入学であるが、市内への就職割合は市内出身者が高く、市外出身者は低い。
- 「加賀市看護師等修学資金」の応募者は、加賀看護学校生が多く、その他の看護師養成学校生からの応募は少ない。

Ⅴ 加賀看護学校の将来像と今後の検討事項

加賀市の看護師需要に応えるため、加賀市が設置する看護師養成所として、一定数以上の加賀市出身の入学者の確保に取り組み、高水準の市内就職割合を目指す。そのためには、少子化の影響を考慮し、定員数の減員も考慮に入れ、より優秀な人材の育成を図ることが必要である。また、加賀市看護師等修学資金の有効活用（加賀市医療センターで一定期間就業した場合、返還不要）も必要である。

今後、近隣大学等の状況を引き続き注視していく中で、加賀市医療センターへの併設移転に係る財源も含め引き続き検討を行う。